

JB NEWS

岡山県立岡山城東高校男子バスケットボール部通信

発行者 バスケットボール部顧問 藤田 美絵

発行日 2013年2月14日

No. 6

怒濤のごとく過ぎ去った1月を、振り返ろう、振り返ろう…と思いつつ、今日は早2月半ばのバレンタインデー。テスト1週間前に突入し、やっと考える時間ができたので、新人戦を振り返ってみようと思います。

1月12・13日(土・日)第65回岡山県高等学校バスケットボール新人優勝大会に、右のメンバーで挑みました。怪我をしても練習を休まず、地道に地道に努力を重ねてきた守屋 慧(富山中)が、選手全員一致の意見で初のベンチ入りです!

1回戦：勝山

美作地区予選2位の勝山高校は、チームの平均身長が2cmも上回る手強い相手で、リバウンドとルーズボールの支配率で勝敗が決まるなど思いながら試合に入りました。

出だしがいつも重たい雰囲気が始まる我がチームですが、キャプテン今井啓太(旭東中)が、怪我から復帰してコートに立っていたこともあり、チームのディフェンスに落ち着きがあり、点の取り合いではなく、守りあいの展開でゲームが進んでいきました。ボールマンに対するプレッシャーがよくかかり、相手のミスを誘う内容で、36-31で前半終了。後半は、出だしから勝山のディフェンスの形がゾーンに変わり、オフェンスのリズムを作り出すのに苦労しました。しかし、要所要所でみせる赤木 魁(西大寺)の粘り強さに助けられ、重光悠雅(西大寺)の速攻や、今井啓太の3ポイントで得点を重ね、4ピリオドで走り勝って試合終了!でした。地区予選ではなかなか意識できなかった“走るバスケット”を、少し表現できはじめたかな…と思う試合でした。これでベスト16進出です!!

No.	氏名	出身中
4	今井啓太	旭東
5	赤木 魁	西大寺
6	守屋 慧	富山
7	黒崎穂高	旭東
8	木村高将	備前
9	小橋将人	竜操
10	的野隼人	伊里
11	重光悠雅	西大寺
12	松本好平	京山
13	後藤雅弥	伊里
14	尾上 潤	高陽
15	高橋一雄	旭東
16	關 祐人	ロンドン日本人学校
17	富岡亮太	富山
18	岩藤大和	興除
	赤木晴哉	上南
	大寺優輝	旭東
	秋山将輝	中山
	關 将史	ロンドン日本人学校
	谷口 颯	磐梨

	17-18	
85	19-13	69
城東	14-22	勝山
	33-16	



2回戦：倉敷工業

会場が倉敷工業だったので、完全AWAYの戦いでした。しかし、備前地区11位からの逆襲を誓い、年末の練習試合でやられていたところを振り返り、ディフェンスで作戦をたてて臨んだ戦いでもありました。しかし、倉工のHOME感からか、相手チームのシュートが入る入る…圧倒された我がチームは、開始4分経っても黒崎穂高(旭東)のゴール下2点しか入っていないという、重たいムードですべりだしてしまいました。1ピリオドが終わって30-12、でも相手チームのファウルが意外に多かったこともあり、必ずチャ

ンスはやってくると信じながら、ディフェンスに気持ちを込めて戦い続けました。松本好平（京山）と今井啓太（旭東）の絶妙なディフェンスの駆け引きと、赤木 魁（西大寺）・黒崎穂高（旭東）の献身的なりバウンド、木村高将（備前）の角度のないところからのジャンプシュートで、2ピリオド以降は対等に戦い続け、62-86で試合を終えました。ディフェンスをもう一度練習し直すぞ！という固い決意を持たされた試合だったと同時に、黒崎穂高（旭東）・木村高将（備前）を中心に、重光悠雅（西大寺）・岩藤大和（興除）を加えた1年生の奮闘が際立った試合でした。少数しかいない2年生を、1年生がよく支え、ここまでよく成長してきたと誇りに思いました。

今回、ベンチ入りが出なかったメンバーも、サブスコアをとりマネージャー（増田真帆（山南））を助けるなど、陰でチームをよく支えてくれました。さらに、大きな声で応援したいにも関わらず、ビデオをずっとまわし続けてくださった保護者の方、遠くから応援に駆けつけてくださった方々に本当に感謝致します。ありがとうございました。

62	}	12-30	86
城東		16-20	倉敷工業
		15-20	
		19-16	



第65回岡山県高等学校バスケットボール新人優勝大会
 平成24年度中国高等学校バスケットボール新人大会岡山県予選会
 第68回国民体育大会バスケットボール競技(少年の部)岡山県予選会

平成25年1月12日 ● / 13日 ● 倉敷工業高校(A,Bコート) / 翠松高校(C,Dコート)
 19日 ● 倉敷工業高校(E,Fコート)
 20日 ● 倉敷中央高校(G,Hコート)
 26日 ● / 27日 ● 倉敷青陰高校(I,Jコート)

主催 岡山県高等学校体育連盟/バスケットボール部



この表紙は、なんと本校の美術の先生、→
 我らが『重藤先生』の作品です。
 いつも、熱さと暖かさと、応援エールを感じながら、そしてこの冊子を握りしめながら、
 新人戦を戦い抜きました。

この表紙の右上には、こんな文字が・・・

**“マイケルは素晴らしい選手だったけど、
 彼だって一人では勝てなかった。
 Scottie Pippen”**

ジーンとくる、単純な藤田でした。